

## 福井県奥越地域における最近の地震活動

### Recent Seismicity at the Okuetsu Area (Eastern part of Fukui Prefecture)

岡本拓夫・○平野憲雄・竹内文朗・西上欽也・渡辺邦彦

Takuo Okamoto, ○ Norio Hirano, Fumiaki Takeuchi, Ki'nya Nishigami, Kunihiko Watanabe

Hokuriku Observatory has recorded the micro earthquake wave-form since 1976. Several characteristics of earthquakes in Fukui prefecture show the linear distribution along the active faults and the occurrence of after shock of large earthquake. An earthquake with M5.0 (JMA) occurred just under Mt. Arashima 2/7 in 1996. We recognized the several damages from that earthquake. In Okuetu area, some large active faults, for example Hohkyouji fault, exist. Recently, we have several small earthquakes there. We introduce those earthquakes in this meeting.

#### 1. はじめに

福井県及び周辺は、歴史的にみても大地震の発生やその被害を受けてきた地域である。近年、白山付近や福井県の東部（奥越）地域で有感地震の発生が顕著になってきた。奥越地域は、北美濃地震（1961, M7.0）の発生等知られているが、最近ではそれほど目立った活動は、荒島岳付近の M5.0（1996）以降なかった。そのような状況で、ここ数年徐々に活動的になったきた。このことは、福井地方気象台でも確認されている（例えば福井地方気象台地震活動図、2005）。また、宝慶寺断層を代表とする活断層の分布も認められる地域である。本研究は、近年発生した地震について、メカニズム等の特徴を明らかにすることを目的としている。

#### 2. 地震活動の特徴

北陸観測所は、1976 年より福井県及び周辺の地震活動を詳細に把握している。上段に奥越周辺の 1976 年～2004 年の震央図を示す。奥越周辺は地震活動の認められる地域で、福井地震断層の様な直線的な分布ではなく、地震活動の固まりような分布として認められる。下図は、福井地方気象台による 2005 年の地震活動報告（地震活動図、12, 2005）によるものである。2005 年になって、奥越地域で活動が顕著になってきた。岡本他（2005）は福井県の嶺北地域全体での地震活動の低下を指摘しているが、一部の地域のみ活動的になった現象である。講演では、これらを詳細に報告する。

Sisimicity for 7605 - 0410  
M 1 Z 30km

